昭和四年三月廿九日　第三種郵便物認可
（廿三日夕刊）昭和五年四月二十四日　THE TOHOKU NICHINICHI SHINBUN　（木曜日）第四百二十九号（一）

東北日日新聞

本紙一ヶ月三十錢　郵稅二錢一部三錢
廣告料一行三十錢　時間外一行五十錢
發行所　福島縣石城郡平町白銀町十番地東北日日新聞社
發行人　横山助成
年中無休　夕刊

社說

日本が獨自の民族精神が喪失しかけてゐる。

日本の歷史的變遷の幾世紀間の永い傳統として根强いものが、いつしか民族の本質として淨化され洗練されるに到つて、獨自の光彩と、意力とを把持するに到つた精神王國が、一九三〇年といふ新時代相といふよりは世界相とみるべき時代思想によつて、みる〳〵破壞されやうとしてゐる。

古い日本の遺物としての凡てを排斥する新らしがり屋の思想家と稱する時潮の寄生虫的學者がある然し、傳統を尊重することは直ちにその凡てを是認し、肯定するものではない、公正なる理智はその中の貴い、そして高價な獨自の創造にかゝるものゝみを精撰するであらう。

古い日本の階級に於ても上層と、下層とは不斷の爭鬪で終始してゐるが、中層階級は常に公正でもあり、創造者でもあり批判論者でもあつた。

同時に國民思想の操守者でもあつた。武士も、商人もこの階級はどの時代でも國家の中堅であつたそして民族の血管から血統へと正しい精神が、民族の精彩となつてきてゐることは、流石の思想家連も認識してゐる。

若し、アメリカの物質万能文明が沒落しやうとしてゐるのが、この高價な古典的な血の精神王國が是認しない學者はないであらう。

吾人は民族精神の沒落を怖るゝ者の中の最一人者であるよ。

新聞紙上にて鎭海事件の責任者として、二十日午前九時朝鮮龍山軍法會議法廷に立てる被告、高橋大尉、石邊軍曹、芝崎一等火工長等の陳述をみるとし、涙ぱうだとして紙上に點滴したのである、幾十の兒童を活動寫眞撮影中の失火から燒殺した被告である。

高橋大尉は自己の責任であると主張し、石邊、芝崎亦自己の直接責任であるとして力說してゐる。

罰金刑に處せらるゝや三被告は法官に叫んで曰く「何んぞ罪の輕きやと」自己を責めて重罪に處せられんことを希ふ。

滿廷肅然と襟を正しうし て法官も、人共に涙に浸は再參縣その他關係方面に

平第二小學校の 通學道路買收問題

橋本氏ガンとして折れず 開設位置を變更か？

平町第二小學校正門通りの十二圓見當より引かぬと言ふに對し平町の踏算は一坪三圓とありその中間をとるも雖も尙且甚しい開きあり何んと言つてもまとまらない狀態であるので平町では二十一日協議會を開き現在の小道路より十五間東方に通學路を設くる事とし價格も周圍の關係上橋本氏のいふ坪十二圓までは止むを得ぬやうな醜態を演じたので町當局では實現を急いでゐるが橋本土地部では一坪三圓とありその中間をとるも雖も尙且甚しい開きあり何んと言つてもまとまらない狀態であるので平町では二十一日協議會を開き現在の小道路より十五間東方に通學路を設くる事とし價格も周圍の關係上橋本氏のいふ坪十二圓までは止むを得ぬやうな醜態を演じたので町當局では實現を急いでゐるが橋本土地部では一坪平町第二小學校正門通りの十二圓見當より引かぬと言ふに對し平町の踏算は一坪三圓とありその中間をとるも雖も尙且甚しい開きあり何んと言つてもまとまらない狀態であるので平町では二十一日協議會を開き現在の小道路より十五間東方に通學路を設くる事とし價格も周圍の關係上橋本氏のいふ坪十二圓までは止むを得ぬやうな醜態を演じたので町當局では實現を急いでゐるが橋本土地部では一坪

調停案を示して 縣に中止を陳情

陰謀的な魚市場に 取引所側幹部奮慨す

平町の魚市場問題は引續き石城鮮魚商組合が取引きをねるが去る二十日市場側で繼續してゐるので魚市場である濱聯合魚商會から取引所側に對して妥協案を提出

商工工當局が嚴選主義の達成をもつて豫防線を張つたのはいゝ心がけ

◇

激減するだらうと豫想されてゐた新綿の植付反別は減つても精々五分位だらうと

綿業自體の事情が不良なところへ原價安の脅威、去らずとあつては買方も氣は持てない

◇

ニューヨークからはしきりに本邦市場の安定をうながしてゐる

保管生糸は永久的な貯藏方法を講じ新年度の供給制限を徹底的に決行することを聲明して安心を與へることが何より急務

◇

精糖の廉賣戰は又しても再燃月末のない物相場を見越して思惑した連中こそ好い面の皮

今日決定される五六月の賣出數量は一層興味あるものとなつた

× ×

漫談

株式

市人は買方の催眠術にかゝり素業家は蛇ににらまれた蛙同樣

正に憎まれつ子の全盛時代といふべし

◇

不純な動機から正米市場の設立認可猛運動が起るのは過去の例に徹しても明か

植田繭市場

株式募集協議會

石城郡南十ケ町村聯合植田

前科五犯の賊 內鄕で逮捕さる

東京を荒して逃走中を 尙餘罪ある見込で取調中

二十日午前九時ころ石城郡內鄕村字小島木賃宿村田屋に止宿してゐた擧動不審の男をその筋で檢擧取調べたところ此者は神奈川縣鎌倉郡川口村生れ當時住所不定盜前科五犯甘粕吉藏（三〇）と て十八日夜東京南下谷區櫻木町藥商店より現金十二圓を盜み之れを旅費として來縣した事を自白したが餘罪あるらしく目下嚴重取調べを續けてゐる

△平窪青年總會

石城郡平窪村男女青年團總會は二十九日午後二時から內鄕村字小島木賃宿村田屋に止宿してゐた擧動不審の男をその筋で檢擧取調べたところ此者は神奈川縣鎌倉郡川口村生れ當時住所不定盜前科五犯甘粕吉藏（三〇）と て十八日夜東京南下谷區櫻木町藥商店より現金十二圓を盜み之れを旅費として來縣した事を自白したが餘罪あるらしく目下嚴重取調べを續けてゐる

愛林思想の 文藝當選者

十五名が入賞

過般來より石城林野保護組合聯合會では愛林思想普及のため平署管內より愛林思想を加味せる文藝を募集中のところ左の十五名が入賞した

▲ポスター　平第二小學校　尋常五年生金成ヒデ、草野若代、好間校五年生小川勝巳、猪狩金次郎、佐藤忠雄、伊藤正勝、齋藤啓一

▲俗謠　神谷村柳原多博、好間村駒峯皎州

▲童謠　豊間村大谷康、永戸村松崎平幸、平第二小學校高等一年吉田クニ、好間小學校高等二年生安齋フミ、高等一年熊谷フミ、河村キヨ

露天商組合總會

常磐露天商組合第四回組合總會は來る五月二日午後九時から平町平館に於て開催されるが協議事項は左の如し

一、役員改選の件

二、支部設置に關する件

三、組合員キ章制定の件

久保町の 花札賭博

現行犯で逮捕さる

石城郡平町久保町二六飲食店鈴木ミツ方で昨二十二日午後四時ころ平町大館一煎餅屋渡邊初市（三八）平町平久保土工渡邊定二郎（五〇）平町胡摩澤八〇四土工伊藤多助（五六）好間村上好間荷馬車業小林次郎（五〇）好間村下好間大館土木業高木藤四郎（五三）の五名が現金かけの花札賭博開帳中平署員に踏込まれ一網打盡に逮捕された

休憩 関東軒 電話 平四〇番

戯曲

夢に見た悲曲

一幕一場

ワコード文藝倶樂部
同人 正木朝夫

登上主要人物

幾子……元藝者で敏夫の生みの母
敏夫……いく子と朝之との間に出來た子
朝之……敏夫の眞實の父
藤吉……敏夫の育ての父
お照……藤吉の妻で 夫の育ての母

（敏夫の父朝之は丁度敏夫が生れる一ケ月ばかり前に二十五歳を最後に文學に秀才を認められながら傳統的肺病で死んでいつたのである。）

幾子「敏ちやん。涙が出なく、なつたの、そんなに悲しいの、なせ涙がつきるまで泣かなければならないんでせうね 敏ちやん。お父さんに逢ひたい逢ひたいでせうね、お母さんだつてお逢ひしたいんですもの、敏ちやんが逢ひたいわね、逢はせて上げますよだから泣かないでまつていらつしやいな泣かないで——だけどね坊や（幾子は泣きながら吾が子ひしと抱いた）

——だけどち敏やんのお父さんはね敏ちやんが、生れる一月ばかりまいに惡い病氣で死んでしまつたのだから逢いませんわ、坊やの顔も知らないお父さんは。今遠くにいつてしまつたの、でもお母さん遠くまでいつて坊やに逢はせてあげますよ

それは。空腹、寒氣悲哀、の極致であつた）

（通りかゝつた田舍人の藤吉お照の夫婦の愛の力によつて敏夫のみが意識を回復し

たけれども、夫を慕ひ狂ふ幾子は、愛しき吾が子を只一人殘して白蓮咲き競ふ夢の國に旅立つた

——（終り）——

×

近日公開
ツエペリン伯號
世界一週
ビツク・パレード

二十四日
寫眞替り

日活超大作……主婦之友連載
原作……三上於菟吉氏
悲劇 火ひあぶり刑 全
神田俊二・入江たか子
主演者……
高津愛子・竹村鐵三

◆松竹提供右太プロ大作品
市川右太工門・五味國枝……主演
悲戀劍史 紅蓮淨土 全
高堂國典・吉野露子・梅田菊藏……助演
原作……志摩沙良男

◇日活提供・NKCK差峨野大作品
原作：佐々木味津三・監督：辻吉郎
片岡千惠藏……猛演
捕物奇談 右門捕物帳 三番手柄
梅村よう子・瀬川路三郎・淺香八郎……助演
犯行のあつた室に殘る臭氣は正しく獸物である、推理したムッツリ右門の第三番手柄である

料金 日活
普通 松竹 平館

リン病消カチの妙藥
東京
峰岸淋丹分舖
平町南町火の見下
一週間分金二圓七十錢二週間金五圓三週間金七圓
御申込次第密送す

和洋結髪 衣裳着附 化粧法
染毛 洗頭 縮毛 矯正 術
美容 美爪 美顏術
平町停車場通り 東京美容院分院
電話四三六番 佐藤ミネ子

◎アイギ◎
レンコート
セビロ三ツ組
サージ通學服
トンビモヂリ
ゴム引マント
正札堂
平町停車場通り
電話四三六番

耳鼻咽喉科 氣管食道科 專門
平町南町
大和田醫院
電話一七〇番
入院隨意（自炊の便あり）

▲職工募集▼
一、家具指物職人 五名
但シ相當經驗ヲ有シ永勤出來得ル者詳細面談ス
平町三丁目
丸はん家具店
電話三五九番
平町新田前
申込所 丸はん家具製作所
電話七二三番

春!!花!
この季節こそ最も寫眞のよくこれる時です
大野寫眞館
何時でも出張撮影に應じます
平町仲田町

漆器の御用命は
是非…和久井屋へ……
電話四〇五

特賣
たひら正宗 福島縣清酒 一等賞受領品評會
花春 同優等賞受領
鹽屋最上醬油釀造元
山崎合名會社
平町土橋 電話一〇番 二七番
東京上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番